

## 9 教育費

### 1 教育総務費 2 事務局費

[担当：学務給食課] P. 339

2201 通学送迎に要する経費 598,080 円 (840,000 円)

[一財 598,080 円]

#### ○ 目的

旧高須小が桜が丘小に統合されたことに伴い、遠距離通学となる大留第1地区（小貝川左岸）の児童の安全な通学手段を確保する。

#### ○ 内容

登下校時に、桜が丘小と対象児童の自宅の間をタクシーで送迎した。

対象者 大留第1地区の児童 5年生：1人

#### ○ 効果

対象児童に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課] P. 339

2301 教育情報機器整備に要する経費 24,706,500 円 (10,788,398 円)

[一財 24,706,500 円]

#### ○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うため、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。

#### ○ 内容

・小中学校全校の校務事務の情報を教育委員会と学校が共有する事で、教職員の事務の効率化を図る。

・市内全中学校において、教育用・校務用パソコンを3月に入替えを実施した。

主な事業費内訳

・教職員情報ネットワーク使用料 5,103,000 円

・教育用・校務用パソコン使用料 388,500 円

#### ○ 効果

・教育委員会と学校が情報を共有する事で、事務の効率化が図れた。

・児童生徒がクラス用パソコンを活用した授業を行えることで、情報活用能力を身につけられるようになった。

### 1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課] P. 339

2101 奨学生貸付金 2,880,000 円 (3,379,300 円)

[その他 2,880,000 円]

\* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 7,504,400 円(償還者数：34名)のうち 2,880,000 円]

#### ○ 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付け、有為な人材を育成する。

○ 内容

貸付額 国公立大 月額 30,000 円 私立大 月額 40,000 円

種 別	24 年度	23 年度	22 年度
国公立大学	0 名	0 名	0 名
私立大学	6 名	7 名	10 名
合 計	6 名	7 名	10 名

○ 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

**1 教育総務費 4 教育研究指導費**

[担当：指導課] P. 341

**0501 教育振興に要する経費 51,993,369 円 (68,497,431 円)**

[一財 51,993,369 円]

○ 目的

国際化・情報化・科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の激しい社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせ、自ら学び自ら考える力など「生きる力」を育むことをねらいとして、教育の充実を図る。

○ 内容

- ・社会科副読本「わたしたちの茨城県」購入 (小学 4 年生) 552,420 円
- ・社会科地図「わたしたちの取手市地図」印刷 (小学 3 年生) 292,950 円
- ・社会科地図「取手市・守谷市・北相馬郡全図」印刷 (中学 1 年生) 220,500 円
- ・社会科副読本「とりで」印刷製本 (小学 3 年生) 1,312,500 円
- ・英語指導助手業務委託料 44,730,000 円

英語指導助手 12 人 (中学校各校 1 人・小学校 3 校に 1 人配置) を民間専門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手との交流により国際理解の推進を図った。

- ・デジタル教科書 (指導用提示資料使用料) 2,551,500 円
- ・デジタル教科書 (指導用提示資料) 756,000 円
- ・学習ボランティア謝礼 243,000 円
- ・「心の授業」「心の先生」謝礼 226,000 円
- ・学校問題解決サポートチーム員謝礼 25,200 円
- ・その他 (需用費・負担金等) 1,083,299 円

○ 効果

新学習指導要領全面実施をふまえ、各教科のねらいに迫る授業展開が図られた。デジタル教科書を活用することで、児童生徒の学習意欲を高めることができた。小学校の外国語活動、中学校の英語教育、及び国際理解教育の充実が図られた。

[担当：指導課] P. 341

**1001 特別支援教育に要する経費 2,807,698 円 (1,573,173 円)**

[一財 2,807,698 円]

○ 目的

障害のある児童生徒を支援したり、保護者や教職員からの相談に応じたりする活動

を通し、取手市内小中学校の特別支援教育の充実を図る。

○ 内容

(1) 特別支援教育相談員の配置

児童等の就学や適応に関する調査や教職員や保護者に対する相談活動を行う。

・相談件数

区 分	H24 年度 (95 件)	H23 年度 (80 件)
未就学児に関して	66 人	61 人
在学児童生徒に関して	21 人	15 人
教職員から	8 人	4 人

(2) 就学指導委員会の実施

障害のある幼児児童生徒の適切な就学のため、医師・特別支援学級担当者・県立伊奈特別支援学校教諭等で構成する委員会。就学先を協議・判定する。

・判定件数

区 分	H24 年度 (83 件)	H23 年度 (98 件)
新学齢児	37 人	50 人
在学児童生徒	46 人	48 人

(3) 特別支援教育サポート事業の実施

地域における特別支援教育相談体制を充実させるとともに、小中学校等における特別支援教育校内支援体制の整備と活用に関する支援を行う。

教職員や保護者向けの相談活動「ほのぼの相談会」や、教職員向けの研修会などを企画・運営している。

・「ほのぼの相談会」相談件数

区 分	H24 年度 (7 件)	H23 年度 (14 件)
保 護 者	7 人	14 人
教 職 員	0 人	0 人

・研修会への参加者

区 分	H24 年度	H23 年度
特別支援コーディネーター研修会	37 人	45 人

○ 効果

障害のある幼児等を早期に発見できたことにより、幼稚園・保育所と小学校が連携して適切な支援の移行を行うことができた。

市内小中学校における校内支援体制を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 343

2301 適応指導事業に要する経費 25,890,648 円 (26,122,213 円)

[一財 25,890,648 円]

○ 目的

不登校などの悩みを抱える児童生徒には、適応力を高め、学校へ復帰するための力を伸ばす指導が必要である。様々な要因で集団に適応できない児童生徒に適切に対応するため、学校や関係諸機関との連携を図りながら本人や保護者への指導・助言を行う。

○ 内容

教育相談員と指導主事が、適応指導教室や学校において、教科の指導・集団活動・個別の相談業務等を行った。これらを通して児童生徒が自立し、コミュニケーション力をつけ、学校に適應できるよう継続的に支援した。併せて、保護者との面談も行った。

○ 効果

平成 24 年度は小中学生計 9 人の通室者のうち、4 人が学校生活に復歸することができた。また、学校への復歸ができなかった児童生徒も適応指導教室に通室することによりコミュニケーション力を育成することができた。

年 度	通室者数	復歸数	復歸率
H24	9 人	4 人	44%
H23	9 人	5 人	56%

[担当：指導課] P. 345

3101 理科支援員等配置に要する経費 829,380 円 (532,878 円)

[国・県 728,000 円 一財 101,380 円]

\* 特財内訳

[県委：理科支援員等配置事業委託金 728,000 円]

○ 目的

全小学校において、理科の授業での観察・実験活動等における教員の支援や、先端技術に関する実験等の演示・体験活動を行う人材を派遣する。小学校理科教育の一層の活性化と充実、さらには小学校教員の理科指導力の向上を図る。

○ 内容

(1) 理科支援員の配置

配置校及び学級数：戸頭西・藤代・宮和田・山王・六郷小学校 5・6 年の 16 学級

内容：観察・実験活動等の準備、実験支援、後片付け、教材開発、理科室環境の整備、観察・実験活動等技能向上の支援等

区 分	H24	H23
配置校数	5 校	4 校
配置学級数	16 学級	12 学級

(2) 理科特別講師の派遣校数及び学級数

対象：小文間、井野、戸頭西、宮和田、六郷、桜が丘小学校 5・6 年の 13 学級

内容：製薬研究者による先端科学技術に関する知識やものづくり技術の伝授、実験等 (3 人の製薬研究者を招へい)

区 分	H24	H23
派遣校数	6 校	3 校
派遣学級数	13 学級	12 学級

○ 効果

理科支援員による授業支援は、教師が児童に直接向き合う時間を増加させ、小学校理科教育の一層の活性化及び充実を図ることに有効であった。また、理科特別講師による授業は、児童の理科に対する興味関心を高めるだけでなく、夢を持つことの大切さ等、キャリア教育の視点からも高い効果が得られた。

[担当：指導課] P. 345

4201 日本語指導員に要する経費 2,657,175 円 (870,072 円)

[一財 2,657,175 円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を行い、学校生活を支援する。

○ 内容

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者との通訳等

○ 効果

日本の学校への円滑な受け入れが可能となり、学校生活の不安を解消できた。

年度	指導員数	支援対象児童生徒の内訳
H24	9 人	英語 8 人 ハングル 1 人
H23	8 人	英語 4 人 ポルトガル語 1 人 タイ語 1 人 ハングル 1 人

[担当：指導課] P. 345

4501 学力向上推進事業に要する経費 4,043,563 円 (4,562,166 円)

[国・県 908,000 円 一財 3,135,563 円]

\* 特財内訳

[県委：学びの広場サポートプラン委託金 908,000 円]

○ 目的

児童生徒に基礎的・基本的な内容の定着を図り、確かな学力を育成する。また、指導体制や指導方法等の研修を深め、教員の資質向上を図る。

○ 内容

6～2 月

授業研究会 (国語・社会・算数数学・理科・英語・道徳等 9 回、小学校外国語活動 1 回)

7～8 月

夏休み算数スクール (市立全小学校 6 学年に学習支援員を 1 人ずつ 5 日間配置)

学びの広場 (市立小学校 4・5 年全学級に学習支援員を 1 人ずつ 5 日間配置)

1 月 19 日

学校経営 (小中連携 (一貫) 教育推進) 研修会

2 月 12 日

算数授業力向上研修会 (授業研究および講演会)

○ 効果

研修会や講演会を通して教職員の資質向上を図ってきた。特に国語科・算数数学科・小学校外国語活動においては、研修内容が即授業実践につながるなど、実効性の高い研修となり、事業の成果向上がみられた。さらに、夏休みの補習授業を実施したことで、児童の学ぶ意欲が向上し、確かな学力の育成につながった。

[担当：指導課] P. 345

4801 小中連携 (一貫) 教育推進事業に要する経費 1,098,399 円 (536,545 円)

[一財 1,098,399 円]

○ 目的

中学校生活への適応や学力の向上などをねらった小中連携・一貫の取組をモデル学区において推進するとともに、市内全学区への啓発や一般化を図る。

○ 内容

小中連携（一貫）教育を推進するための視点を明らかにし、それを踏まえた具体的施策をモデル学区及び他の中学校区において実践する。

※小中連携（一貫）教育推進のための視点

- ① これまでの取組の整理
- ② 小中一貫教育の啓発
- ③ 教科担任制への適応
- ④ 小中教師それぞれの特長を生かした教師間交流
- ⑤ 児童生徒間の交流
- ⑥ 生徒指導の一貫性や学校生活への適応
- ⑦ 教育課程の連続性や教育内容の一貫性
- ⑧ 学力向上

事業の取組を充実させるため、モデル学区における補充講師の配置、研修講師の招聘、児童生徒の交流活動に係る移動用バスの運行などの環境整備を行う。

・ 乗り入れ授業後補充講師賃金	379,300 円
・ 講師謝礼・筆耕謝礼	172,000 円
・ 児童生徒の交流活動移動用バス代	217,699 円
・ 児童生徒の交流活動楽器運搬費	212,850 円
・ その他消耗品等	116,550 円

○ 効果

中学校生活への適応や学力の向上などテーマとして、大学教授による管理職研修会の実施や、教師間交流による研修を充実させた。また、バス 10 台・楽器運送用トラック 9 台を活用して児童生徒の交流活動を推進し、小中連携・一貫の取組について市内全学区への啓発や一般化を図ることができた。小中連携・一貫の取組を推進したモデル学区においては、中学校教師が小学校で専門性を生かした授業を行うなどの「乗り入れ授業」を実施し、小学校から中学校へのスムーズな移行を行う一助となった。さらに、地域人材を活用した「キャリア教育」では、児童生徒に将来への視野を広げさせることができた。

## 1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 347

1001 青少年健全育成に要する経費 10,758,651 円 (10,557,323 円)

[国・県 56,050 円 一財 10,702,601 円]

\* 特財内訳

[県補：青少年相談員店舗訪問業務補助金 56,050 円]

○ 目的

青少年センターに配置した特別青少年相談員と各地区から委嘱した青少年相談員を中心に、青少年自身や保護者からの悩みごとや困りごとなどの相談を受けるとともに、

学校や関係機関団体と協力して街頭指導を行い、問題行動の早期発見、早期解消を図り、青少年が安心して生活できる街づくりに努める。

また、青少年育成団体に助成を行うことにより、青少年の健全育成に関わる市民活動の活性化を図る。

○ 内容

- ・報酬 青少年相談員報酬 6,316,800 円 (月額 9,400 円 56 人)  
特別青少年相談員報酬 2,712,000 円 (月額 113,000 円 2 人)
- ・負担金、補助及び交付金 6 団体 1,292,700 円
- ・青少年センターの移転を行った。

○ 効果

この事業を通して青少年健全育成の意識の高揚が図られ、青少年の心身の健全なる育成を推進することができた。

## 2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P. 349

2001 小学校管理に要する経費 207,562,292 円 (205,233,677 円)

[国・県 1,091,706 円 その他 6,560,506 円 一財 199,910,080 円]

\* 特財内訳

[県補：学校活性化 TT 特別配置事業費補助金 1,091,706 円]

[使用料：学校開放小学校体育館使用料 816,850 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 5,300,000 円]

[諸収入：取手小太陽光発電による売電料 68,832 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 64,936 円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 309,888 円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へと繋げる。

○ 内容

- ・TT (ティームティーチング) 特別配置事業により、県からの TT 加配がっていない小学校 2 校 (小文間小、吉田小) に TT 非常勤講師を配置し、課題別学習など多様な学習を展開し、個に応じたきめ細かな指導を行った。(2,063,456 円)
- ・教育補助員を 17 校 (取手小、白山小、小文間小、寺原小、永山小、井野小、白山西小、戸頭西小、吉田小、戸頭東小、稲小、山王小、六郷小、藤代小、宮和田小、久賀小、桜が丘小) に配置し、障害のある児童の生活支援を行った。(36,194,064 円)
- ・小学校管理備品 (体育館緞帳・暗幕、放送設備等) の購入を行った。

○ 効果

- ・TT 非常勤講師の配置により個々に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が図れた。また、教育補助員を配置することで、障害のある児童の生活支援ができた。

[担当：教育総務課] P. 351

2101 小学校施設管理に要する経費 40,894,650 円 (42,295,483 円)

[その他 58,416円 一財 40,836,234円]

\* 特財内訳

[諸収入：電気設備管理補償金58,416円]

○ 目的

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

(1) 需用費

項目	内容	金額
消耗品費	各小学校施設補修用消耗品の購入	706,185円
	各小学校施設補修用消耗品の購入(学校配当分)	308,619円
修繕料	各小学校の施設修繕料	9,118,468円
	各小学校の施設修繕料(学校配当分)	4,680,285円

(2) 役務費

項目	内容	金額
手数料	浄化槽の法定点検手数料	55,000円
火災保険料	各小学校施設の火災保険料	1,156,957円

(3) 委託料

委託名	内容	金額
学校警備委託	各小学校の機械警備	5,346,936円
浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃(小文間小、永山小、山王小、六郷小、宮和田小)	2,110,500円
消防設備保守点検委託	各小学校の消防設備の保守点検	2,982,000円
排水管清掃委託	各小学校の排水管の清掃	294,000円
電気管理技術者代行委託	各小学校の電気設備の安全管理	2,897,535円
プールろ過装置保守点検委託	各小学校のプールろ過装置の保守点検	653,100円
高架水槽及び受水槽清掃委託	各小学校の高架水槽、受水槽の清掃	766,500円
草刈り清掃委託	小学校隣接地の除草(取手小、白山小)	1,454,250円
給水管漏水調査委託	漏水調査(寺原小)	141,750円
樹木消毒委託	各小学校の樹木の消毒	1,627,500円
樹木剪定委託	各小学校の樹木の剪定	1,489,425円
空調設備保守点検委託	空調設備の保守点検(取手小、桜が丘小、山王小、六郷小、宮和田小、藤代小、久賀小)	681,240円
テレビ共同受信設備保守点検委託	テレビ共同受信設備の保守点検(取手小、藤代小)	1,564,500円
エレベーター保守点検委託	エレベーターの保守点検(取手小、寺原小、永山小)	2,230,200円
太陽熱温水設備保守点検委託	太陽熱温水設備の保守点検(取手小)	189,000円
雨水調整槽保守点検委託	雨水調整槽の保守点検(取手小)	294,000円

(4) 使用料及び賃借料

項目	内容	金額
使用料及び賃借料	電柱共架料	99,540円

○ 効果

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つことができた。



[担当：学務給食課] P. 353

2201 小学校保健衛生に要する経費 30,115,300円 (29,908,378円)

[その他 2,430,956円 一財 27,684,344円]

\* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460×4,590人=2,111,400円]

[諸収入：学校災害賠償補償保険金 319,556円]

○ 目的

学校保健法に基づき、児童及び教職員の定期健康診断を実施することにより健康保持を図る。

○ 内容

・学校嘱託医(27名)、歯科医(24名)、薬剤師(18名)、産業医(18名)の報酬

・児童、教職員健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会

小学生

区分	腎臓検診	蟻虫検査	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	1・2・3年	4年	1年	精密検査対象者	4年
H24	4,991人	2,483人	721人	953人	12人	721人
H23	5,191人	2,509人	651人	950人	2人	651人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	生化学検査 血圧・身体・腹囲測定	胃検診	胸部検診
H24	30人	32人	31人	32人	10人	153人
H23	40人	39人	40人	39人	17人	173人

○ 効果

定期検診を実施することにより、児童・教職員に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

## 2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P. 355

2001 小学校教育振興に要する経費 13,421,452円 (13,098,849円)

[一財 13,421,452円]

○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品 (18校) 11,549,911円

○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習効果が得られた。

[担当：学務給食課] P. 357

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 29,258,016 円 (38,407,515 円)

[国・県 569,000 円 一財 28,689,016 円]

\* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 569,000 円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備及び教材を整備し、良好な学習環境を保つ。

○ 内容

(単位：円)

区分	児童用教材	理科教材	図 書	特別支援 学級教材	合 計
H24	15,374,034	3,644,870	8,149,941	169,816	27,338,661
H23	15,100,581	3,496,319	8,098,667	396,195	27,091,762

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務給食課] P. 357

2201 小学校コンピュータ整備に要する経費 43,715,602 円 (41,305,678 円)

[一財 43,715,602 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

・主に小学校 18 校のパソコン使用料 (各校 21 台) に要する経費である。

主な事業費内訳

・パソコン使用料 41,816,880 円

○ 効果

小学校 18 校において、パソコン教材を活用した学習により、より一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務給食課] P. 357

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 29,391,725 円 (28,677,310 円)

[国・県 1,770,000 円 一財 27,621,725 円]

\* 特財内訳

[国補：要保護児童就学援助費補助金  $76,861 \times 1/2 \approx 38,000$  円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金  $2,552,813 \times 1/2$  以内  $\approx 870,000$  円]

[県補：県被災児童就学支援等事業補助金  $862,043 \times 10/10 \approx 862,000$  円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な小学校児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護及び被災児童就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	被災児童数	合 計
H24	23 人	415 人	13 人	451 人
H23	20 人	379 人	18 人	417 人

・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H24	134 人	88 人
H23	126 人	86 人

○ 効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 357

2901 小学校特別活動助成に要する経費 2,026,431 円 (1,858,485 円)

[一財 2,026,431 円]

○ 目的

諸発表・体育大会等を通して児童の活動への意欲を高める。

○ 内容

音楽発表会送迎バス借上料・楽器運搬費	721,650 円
陸上記録会補助金	1,230,000 円
その他（賞状印刷代）	74,781 円

○ 効果

市音楽会、諸発表、体育大会等への参加により、児童のスポーツ等への関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

## 2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P. 359

2101 小学校施設整備に要する経費 13,719,452円 (16,908,854円)

[一財 13,719,452円]

○ 目的

各小学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。

○ 内容

工事請負費

工 事 名	内 容	工 期	工事費
施設管理営繕工事	各小学校施設の営繕工事		13,277,040円

○ 効果

各小学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。

[担当：教育総務課] P. 359

2201 小学校建設事業に要する経費 695,630,250 円 (656,021,723 円)

<683,051,250 円> ※ < > は、うち 23 年度繰越分

[国・県 271,073,000 円 〈271,073,000 円〉 地方債 406,600,000 円 〈396,800,000 円〉  
その他 1,200,000 円 一財 16,757,250 円]

\* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 260,665,000 円 〈260,665,000 円〉]

永山小学校

危険改築

〈 $94,342,500 \times 1/3 + 94,342,500 \times 1/3 \times 1\% \approx 31,761,000$  円〉

不適格改築

〈 $245,041,000 \times 1/3 + 245,041,000 \times 1/3 \times 1\% \approx 82,497,000$  円〉

吉田小学校

地震補強

〈 $113,290,000 \times 1/2 + 113,290,000 \times 1/2 \times 1\% \approx 57,211,000$  円〉

戸頭東小学校

地震補強

〈 $80,907,000 \times 1/2 + 80,907,000 \times 1/2 \times 1\% \approx 40,858,000$  円〉

藤代小学校

地震補強

〈 $75,398,000 \times 1/2 + 75,398,000 \times 1/2 \times 1\% \approx 38,076,000$  円〉

藤代幼稚園

大規模改造（補強）

〈 $30,484,000 \times 1/3 + 30,484,000 \times 1/3 \times 1\% \approx 10,262,000$  円〉

[国補：公立学校施設整備費負担金 10,408,000 円 〈10,408,000 円〉]

永山小学校

〈 $20,817,000 \times 1/2 \approx 10,408,000$  円〉

[市債：緊急防災・減災事業債 396,800,000 円 〈396,800,000 円〉]

永山小学校旧校舎解体工事・旧校舎解体工事監理委託

〈 $93,429,000 + 913,500 - 31,761,000 \approx 62,500,000$  円〉

永山小学校体育館解体工事・体育館改築工事・体育館解体工事監理委託・体育館改築工事監理委託

（交付金事業分）

〈 $37,180,000 + 202,135,000 + 606,000 + 5,120,000 - 82,497,000 \approx 162,600,000$  円〉

永山小学校体育館改築工事・体育館改築工事監理委託

（負担金事業分）

〈 $20,611,000 + 206,000 - 10,408,000 \approx 10,400,000$  円〉

（負担金事業継ぎ足し単独分）

〈 $7,802,000 + 78,000 \approx 7,800,000$  円〉

吉田小学校校舎耐震補強工事・工事監理委託

〈 $110,100,000 + 3,190,000 - 57,211,000 \approx 56,000,000$  円〉

戸頭東小学校校舎耐震補強工事・工事監理委託

〈 $78,362,000 + 2,545,000 - 40,858,000 \approx 40,000,000$  円〉

藤代小学校校舎耐震補強工事・工事監理委託

〈73,364,000+2,034,000-38,076,000 ≒ 37,300,000 円〉

藤代小（幼稚園）学校校舎耐震補強工事・工事監理委託

〈29,662,000+822,000-10,262,000 ≒ 20,200,000 円〉

[市債：合併特例債 9,800,000 円]

戸頭東小学校体育館耐震補強工事実施設計業務委託

5,250,000×95% ≒ 4,900,000 円

寺原小学校体育館耐震補強工事実施設計業務委託

5,197,500×95% ≒ 4,900,000 円

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,200,000 円]

○ 目的

永山小学校旧校舎・体育館解体工事および体育館改築工事ならびに、吉田小学校・戸頭東小学校・藤代小学校校舎の耐震補強工事を行い学校施設の充実と安全性の確保を図る。また、白山小学校校舎や戸頭東小学校体育館・寺原小学校体育館の耐震補強工事実施設計を行い、耐震性能の向上を図る。

○ 内容

(1) 委託料

委 託 名	内 容	工 期	委託料
永山小旧校舎解体工事監理業務委託	旧校舎解体工事の工事監理業務	H24. 6. 27 ~ H24. 11. 30	913,500 円
永山小体育館解体工事監理業務委託	体育館解体工事の工事監理業務	H24. 4. 14 ~ H24. 7. 27	630,000 円
永山小体育館改築工事監理業務委託	体育館改築工事の工事監理業務	H24. 6. 23 ~ H25. 3. 14	5,985,000 円
戸頭東小校舎耐震補強工事監理業務委託	校舎耐震補強工事の工事監理業務	H24. 5. 25~ H24. 12. 14	2,598,750 円
吉田小校舎耐震補強工事監理業務委託	校舎耐震補強工事の工事監理業務	H24. 5. 25~ H25. 2. 15	3,255,000 円
藤代小校舎耐震補強工事監理業務委託	校舎耐震補強工事の工事監理業務	H24. 5. 25~ H24. 12. 14	2,940,000 円
永山小校舎・体育館解体工事に伴う建物事後調査業務委託	校舎・体育館解体工事に伴う近隣家屋等の建物事後調査業務	H25. 2. 2~ H25. 3. 28	1,365,000 円
白山小校舎耐震補強工事実施設計見直し業務委託	校舎耐震補強工事実施設計の見直し業務	H24. 7. 14~ H25. 2. 28	766,500 円
戸頭東小体育館耐震補強工事実施設計業務委託	体育館耐震補強工事の実実施設計業務	H24. 7. 14~ H25. 2. 28	5,250,000 円
寺原小体育館耐震補強工事実施設計業務委託	体育館耐震補強工事の実実施設計業務	H24. 7. 14~ H25. 2. 28	5,197,500 円

(2) 工事請負費

工 事 名	内 容	工 期	工事費
永山小旧校舎解体工事	新校舎改築により不要となった旧校舎の解体工事	H24. 6. 30~ H24. 11. 16	93,429,000 円
永山体育館解体工事	体育館建て替えに伴う解体工事	H24. 4. 17~ H24. 7. 17	38,640,000 円

永山体育館改築工事	老朽化に伴う体育館改築工事	H24. 6. 22～ H25. 2. 28	236, 250, 000 円
戸頭東小校舎耐震補強工事	校舎の耐震補強工事	H24. 5. 29～ H24. 11. 30	80, 010, 000 円
吉田小校舎耐震補強工事	校舎の耐震補強工事	H24. 5. 29～ H25. 1. 31	112, 350, 000 円
藤代小校舎耐震補強工事	校舎の耐震補強工事	H24. 5. 30～ H24. 11. 30	106, 050, 000 円

○ 効果

老朽化した永山小学校体育館の改築工事により、児童等が快適な学校生活を送れる教育環境の充実が図られた。また、3校において校舎耐震補強工事により耐震性能の向上が図られた。併せて耐震補強実施設計業務委託を行い、平成25年工事实施に向けての準備が進められた。

## 2 小学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P. 363

2001 給食運営に要する経費 292, 658, 325 円 (295, 690, 188 円)

[国・県 102, 000 円 その他 175, 646, 849 円 一財 116, 909, 476 円]

\* 特財内訳

[県補：米飯給食推進事業補助金 102, 000 円]

[諸収入：小学校給食代（自校分）175, 617, 510 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 29, 339 円]

○ 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

○ 内容

主な経費

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	給食用エレベータ保守点検 (15 校)	1, 457, 610 円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃 (12 校)	1, 409, 919 円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃 (12 校)	1, 599, 150 円
給食室病虫害防除委託料	給食室の病虫害の防除 (18 校)	336, 000 円
学校給食調理業務委託料	調理業務を民間の専門業者へ委託した。(9 校：取手小、白山小、寺原小、井野小、白山西小、永山小、吉田小、戸頭東小、稲小)	90, 735, 750 円

○ 効果

栄養バランスのとれた給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P. 363

2101 給食施設整備に要する経費 3, 479, 247 円 (23, 634, 598 円)

[一財 3, 479, 247 円]

○ 目的

給食室内の衛生管理を徹底強化するために施設の充実を図る。

○ 内容

給食室内の厨房機器等の修繕を行った。

○ 効果

給食室内の施設整備及び環境衛生面での充実を図ることができた。

### 3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P. 365

2001 中学校管理に要する経費 82,232,629円 (72,214,191円)

[その他 485,175円 一財 81,747,454円]

\* 特財内訳

[使用料：学校開放中学校体育館使用料 396,200円]

[使用料：学校開放中学校武道場使用料 85,300円]

[諸収入：旧野々井中学校不用品売却代 3,675円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へ繋げる。

○ 内容

- ・教育補助員を2校（取手二中、藤代南中）に配置し、障害のある生徒の教育支援を行った。（3,761,373円）

○ 効果

- ・教育補助員を配置することで、障害のある生徒の生活支援ができた。

[担当：教育総務課] P. 367

2101 中学校施設管理に要する経費 19,230,041円 (20,335,119円)

[一財 19,230,041円]

○ 目的

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

(1) 需用費

項 目	内 容	金 額
消耗品費	各中学校施設補修用消耗品の購入	378,820円
	各中学校施設補修用消耗品の購入（学校配当分）	39,992円
修繕料	各中学校の施設修繕料	5,533,295円
	各中学校の施設修繕料（学校配当分）	1,567,668円

(2) 役務費

項 目	内 容	金 額
手数料	浄化槽の法定点検手数料	61,000円
火災保険料	各中学校施設の火災保険料	641,066円

(3) 委託料

委託名	内 容	金 額
学校警備委託	各中学校の機械警備	2,463,300円

浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃（永山中、旧野々井中、藤代中、藤代南中）	1,464,750円
消防設備保守点検委託	各中学校の消防設備の保守点検	1,344,000円
排水管清掃委託	各中学校の排水管清掃	215,250円
電気管理技術者代行委託	各中学校の電気設備の安全管理	1,102,500円
エレベーター保守点検委託	エレベーター保守点検（取手一中、取手二中、藤代中）	1,617,000円
プールろ過装置保守点検委託	各中学校のプールろ過装置の保守点検	247,800円
高架水槽及び受水槽清掃委託	各中学校の高架水槽、受水槽の清掃	583,800円
樹木消毒委託	各中学校の樹木の消毒	735,000円
樹木剪定委託	各中学校の樹木の剪定	962,850円
空調設備保守点検委託	空調設備の保守点検（藤代中、藤代南中）	124,950円
プール清掃業務委託	プールの清掃（旧取手一中）	147,000円

○ 効果

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課] P. 369

2201 中学校保健衛生に要する経費 14,966,745 円（15,724,484 円）

[その他 1,038,220 円 一財 13,928,525 円]

\* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460×2,257 人=1,038,220 円]

○ 目的

学校保健法に基づき、生徒及び教職員の定期健康診断を実施することにより健康保持を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医(13名)、歯科医(11名)、薬剤師(6名)、産業医(6名)の報酬
- ・生徒、教職員健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会

中学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	2年	1年	精密検査対象者	2年
H24	2,584人	638人	1,016人	4人	638人
H23	2,634人	694人	967人	1人	694人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	生化学検査 血圧・身体・腹囲測定	胃検診	胸部検診
H24	32人	32人	34人	34人	4人	87人
H23	40人	40人	40人	40人	4人	100人

○ 効果

定期検診を実施することにより、生徒及び教職員に対する健康管理や指導が徹底さ



れ健康保持が図れた。

### 3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P.371

2001 中学校教育振興に要する経費 6,873,523 円 (7,317,552 円)

[一財 6,873,523 円]

○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品 (6 校) 6,601,581 円

○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習環境が得られた。

[担当：学務給食課] P.371

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 16,398,669 円 (20,686,308 円)

[国・県 391,000 円 一財 16,007,669 円]

\* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費補助金 391,000 円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備の良好な環境を図る。

○ 内容

(単位：円)

区分	生徒用教材	理科教材	図 書	合 計
H24 (6 校)	6,159,833	1,536,620	7,055,450	14,751,903
H23 (7 校)	6,707,568	1,819,655	6,862,326	15,389,549

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務給食課] P.371

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 4,326,354 円 (6,982,235 円)

[一財 4,326,354 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

主な経費

・パソコン使用料 3,517,324 円

○ 効果

中学校 6 校において、パソコン教材を活用した学習により、より一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務給食課] P. 371

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 32,598,823 円 (31,387,799 円)

[国・県 1,039,000 円 一財 31,559,823 円]

\* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学援助費補助金  $176,940 \times 1/2 \doteq 88,000$  円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金  $1,405,348 \times 1/2$  以内  $\doteq 480,000$  円]

[県補：県被災生徒就学支援等事業補助金  $471,938 \times 10/10 \doteq 471,000$  円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な中学校生徒の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護及び被災生徒就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	被災生徒数	合 計
H24	12 人	288 人	5 人	305 人
H23	15 人	288 人	5 人	308 人

・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H24	45 人	29 人
H23	39 人	22 人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 371

2901 中学校特別活動助成に要する経費 11,814,471 円 (12,691,874 円)

[一財 11,814,471 円]

○ 目的

諸発表・体育大会等（県南大会・県大会・関東大会・全国大会）を通して生徒の活動意欲を高める。

○ 内容

音楽コンクール・諸発表大会生徒派遣費補助金 682,000 円  
体育大会等派遣補助金 4,795,217 円  
その他（自動車借上料、賞状印刷代） 6,337,254 円

○ 効果

市音楽会、諸発表・音楽コンクール・体育大会等への参加により、生徒のスポーツや音楽への関心・意欲が高まり、活動意欲の向上が図れた。

[担当：指導課] P. 373

3001 運動部活動外部指導者活用事業に要する経費 22,200 円 (12,800 円)

[一財 22,200 円]

○ 目的

運動部活動において、外部から専門的技術指導者を招き、より充実した部活動を行い、たくましい心と体をもった生徒を育成する。

○ 内容

賠償保険料 @1,850×12人=22,200円

○ 効果

6校12人の外部指導者を活用したことにより、運動部活動の運営がより活性化し、生徒の技術の向上および心身の育成に大きな成果があった。

年 度	人 数	内 訳
H24	12人	柔道5、卓球2、サッカー1、バスケットボール1、バドミントン1、野球1、バレーボール1
H23	8人	柔道2、卓球1、剣道1、ソフトテニス2、サッカー1、バスケットボール1

### 3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P.373

2001 中学校施設整備に要する経費 5,794,005円 (8,365,555円)

[その他 600,000円 一財 5,194,005円]

\* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 600,000円]

○ 目的

各中学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。また、取手第一中学校テニスコート改修工事实施設計業務委託を行い、学校体育施設の充実を図る。

○ 内容

(1) 委託料

委 託 名	内 容	工 期	委託料
取手一中テニスコート改修工事实施設計業務委託	テニスコート改修工事の実施設計	H24.10.16～ H25.1.31	609,000円

(2) 工事請負費

工 事 名	内 容	工事費
施設管理営繕工事	各中学校の営繕工事	4,945,500円

○ 効果

各中学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。また、取手第一中学校テニスコート改修工事实施設計業務委託を行い、平成25年工事实施に向けての準備が進められた。

[担当：教育総務課] P.373

2101 中学校建設事業に要する経費 13,104,000円 (240,817,500円)

[国・県 1,354,000円 地方債 7,900,000円 その他 3,700,000円 一財 150,000円]

\* 特財内訳

[国補：社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成分）1,354,000円]

戸頭中学校武道場耐震診断業務委託

2,709,000×1/2 ≒ 1,354,000 円

[市債：合併特例債 7,900,000 円]

戸頭中学校校舎耐震補強工事実施設計業務委託

8,400,000×95% ≒ 7,900,000 円

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 3,700,000 円]

○ 目的

戸頭中学校校舎耐震補強工事実施設計を行い、耐震性能の向上を図る。また、耐震診断調査が未実施であった戸頭中学校武道場において耐震性能の有無を調査する。

○ 内容

(1) 委託料

委託名	内 容	工 期	委託料
戸頭中校舎耐震補強工事 実施設計業務委託	校舎耐震補強工事の実施設計 業務	H24.7.14～ H25.2.28	10,395,000 円
戸頭中武道場耐震診断調 査業務委託	武道場の耐震診断調査	H24.6.14～ H25.2.28	2,709,000 円

○ 効果

戸頭中学校校舎耐震補強実施設計業務委託を行い、平成25年工事实施に向けての準備が進められた。また、戸頭中学校武道場は耐震診断の結果Is値が0.7以上であることから、耐震化の必要がない施設と判断された。なお学校施設の耐震診断調査はすべて終了した。

### 3 中学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P.375

2001 給食運営に要する経費 153,797,741 円 (164,878,982 円)

[国・県 55,000 円 その他 99,508,260 円 一財 54,234,481 円]

\* 特財内訳

[県補：米飯給食推進事業補助金 55,000 円]

[諸収入：中学校給食代（自校分）99,316,328 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 8,634 円]

[諸収入：学校給食関係者意識調査事業費助成金 183,298 円]

○ 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

○ 内容

主な経費

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	給食用エレベータ保守点検（6校）	681,450 円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃（4校）	515,770 円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃（4校）	726,600 円
給食室病虫害防除委託料	給食室の病虫害の防除（6校）	215,250 円
学校給食調理業務民間委託料	調理業務を民間の専門業者へ委託した。（4校：取手一中、取手二中、永山中、戸頭中）	42,827,400 円

○ 効果

栄養のバランスのとれた給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P. 375

2101 給食施設整備に要する経費 1,081,762 円 (4,246,426 円)

[一財 1,081,762 円]

○ 目的

給食室内の衛生管理を徹底強化するために施設の充実を図る。

○ 内容

給食室内の厨房機器等の修繕を行った。

○ 効果

給食室内の施設整備の充実及び環境衛生面での充実が図れた。

#### 4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学務給食課] P. 377

2001 幼稚園管理に要する経費 8,933,597 円 (7,927,785 円)

[その他 3,102,927 円 一財 5,830,670 円]

\* 特財内訳

[使用料：市立幼稚園入園料 112,000 円]

[使用料：市立幼稚園保育料 2,953,500 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 37,427 円]

○ 目的

市立幼稚園を運営することにより、幼児教育の振興を図る。

○ 内容

市立幼稚園の入園、施設管理等の運営全般に要する経費である。

保育料（月）5,500 円 入園料 4,000 円

年 度	4 歳児	5 歳児	合 計
H24	26 人	19 人	45 人
H23	19 人	35 人	54 人

○ 効果

市立幼稚園の適切な管理と運営により、質の高い幼児教育を提供することができた。

[担当：学務給食課] P. 379

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 641,386 円 (644,158 円)

[その他 6,075 円 一財 635,311 円]

\* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @135×45 人=6,075 円]

○ 目的

学校保健法に基づき、園児の定期健康診断を実施することにより、健康保持を図る。

○ 内容

- ・ 幼稚園嘱託医(1名)、歯科医(1名)、薬剤師(1名)の報酬
- ・ 園児健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会

区分	腎臓検診	蟻虫検査
対象	全園児	全園児
H24	45人	45人
H23	54人	54人

○ 効果

定期検診を実施することにより、園児に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

#### 4 幼稚園費 2 幼稚園振興費

[担当：学務給食課] P. 381

2001 幼稚園就園奨励費補助関係経費 108,566,267円 (111,964,467円)

[国・県 26,838,000円 一財 81,728,267円]

\* 特財内訳

[国補：幼稚園就園奨励費補助金 補助対象経費

108,566,267－987,700×1/3以内≒25,851,000円]

[県補：被災児童就学支援等事業補助金 補助対象経費 987,700×10/10≒987,000円]

○ 目的

取手市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づき、園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園を奨励し幼児教育の振興を図る。

○ 内容

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
生活保護世帯	0人	0人	0人	0人	0人
市民税非課税世帯	1人	25人	37人	41人	104人
市民税所得割非課税世帯	0人	11人	7人	12人	30人
所得割課税 77,100円以下	5人	48人	59人	51人	163人
所得割課税 211,200円以下	24人	235人	237人	297人	793人
合 計	30人	319人	340人	401人	1,090人

○ 効果

園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園奨励及び幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 381

2002 幼稚園児保育料補助関係経費 40,560,265円 (41,525,982円)

[一財 40,560,265円]

○ 目的

幼児教育の振興を図るため、保護者に対して保育料の一部を補助し、幼児教育に係る経済的負担を軽減する。

○ 内容

対象者：取手市在住で私立幼稚園に在園する満3・3・4・5歳児の保護者

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
月額2,500円	38人	413人	439人	512人	1,402人

補助額 40,495,000 円

○ 効果

保護者の保育料に対する経済的負担を軽減し、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P.381

2003 幼稚園施設運営費補助関係経費 2,970,000 円 (2,970,000 円)

[一財 2,970,000 円]

○ 目的

幼児教育環境の充実と、設置者及び保護者の経済的負担の軽減を図る。

○ 内容

幼稚園の施設を整備するにあたり、私立幼稚園の設置者に対して費用の一部を補助した。

1 園につき 270,000 円×11 園

○ 効果

幼児教育の施設及び設備の充実が図られ、また、私立幼稚園及び保護者の経済的負担軽減に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P.381

2004 幼稚園障害児保育補助関係経費 1,540,000 円 (1,310,000 円)

[一財 1,540,000 円]

○ 目的

障害児保育の振興を図る。

○ 内容

障害児が在園している私立幼稚園の設置者に対して、補助金を交付した。

・障害児 1 人につき 年額 110,000 円 ・対象園児 14 人

○ 効果

私立幼稚園の設置者に対し補助金を交付することにより、障害児保育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P.381

2006 幼稚園預かり保育助成事業関係経費 694,973 円 (686,924 円)

[一財 694,973 円]

○ 目的

私立幼稚園における幼児教育の振興を奨励し、その充実及び向上を図る。

○ 内容

夏季休業日に預かり保育を実施した私立幼稚園の設置者に対して、補助金を交付した。 実施園 9 園 @774 円×1,796h×1/2≒694,973 円

○ 効果

私立幼稚園の設置者に補助金を交付することにより、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 381

2007 幼稚園共済掛金補助関係経費 150,390 円 (155,385 円)

[一財 150,390 円]

○ 目的

私立幼稚園の災害共済掛金を補助し、幼児の福祉増進を図る。

○ 内容

日本スポーツ振興センター災害共済掛金を納付している私立幼稚園に対して、掛金の1/2の額を補助する。 私立幼稚園 @135×1,114人=150,390円

○ 効果

私立幼稚園に補助することにより、幼児の福祉増進と幼児教育の振興に寄与することができた。

## 5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 385

2001 成人式に要する経費 2,076,615 円 (2,077,500 円)

[一財 2,076,615 円]

○ 目的

成人に達した若者の新たなる門出と今後の活躍を願い、式典を開催することで祝福する。

○ 内容

平成24年度新成人の該当者の中から市内各公立中学校の推薦を受け、実行委員会を組織し、成人式の企画・運営を委託事業として実施した。

年 度	性別	対象者(人)	参加者(人)	出席率(%)
H24 (H25. 1. 13 実施)	男	526	375	71.29
	女	519	380	73.22
	計	1,045	755	72.25
H23 (H24. 1. 8 実施)	男	585	425	72.65
	女	484	361	74.59
	計	1,069	786	73.53

○ 効果

成人式実行委員会に式典の進行やアトラクション等の企画・運営を委託することで、熱心に意見交換を行い、工夫を凝らした式典が実施できた。さらに記念冊子の編集作業を担当してもらうことで良い記念となる冊子の作成ができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 385

2201 生涯学習推進に要する経費 2,251,271 円 (2,154,790 円)

[その他 537,000 円 一財 1,714,271 円]

\* 特財内訳

[諸収入：市民大学講座受講料 537,000 円]

○ 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高める



とともに、各分野にわたる学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。

○ 内容

(1)生涯学習フェスティバル

生涯学習活動を実践している団体やサークルによる体験教室や活動発表などを通じて、幅広い世代間の交流と学びの場を提供するため、藤代スポーツセンターを会場にネットワークフェア 2012 と同時開催で実施した。

実施コーナー	実施内容	参加人数
ものづくり教室	身近なものを加工してものづくりに挑戦 牛乳パックのキャンディボックスとブーメランづくり	約 150 人
昔あそびコーナー	昔の遊び(お手玉・おはじき・びーだま・ベーゴマ・あやとりなど) 体験	約 200 人
自然を大切に 野鳥を観察する会	身近で見られる鳥の紹介、ミニ探鳥会の開催	約 150 人

(2)出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」という内容をリーダーバンク登録者及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	H24		H23	
	件数	延べ受講者数	件数	延べ受講者数
リーダーバンク編・登録指導者	9	203 人	10	290 人
行政編・職員等派遣	70	2,704 人	49	1,582 人

(3)市民大学講座

市民がだれでも参加できる教養・専門講座「市民大学」を開講し、法律から歴史・文学まで専門的な知識を持った講師を迎えて、中長期的な講座を開講した。

講座名	開催日	受講者
わかりやすい源氏物語Ⅱ	7/4 ～ 8/1 (全5回)	56 人
水戸街道と取手・藤代宿	10/16 ～11/20 (全5回)	60 人
地図と世界	1/15 ～ 2/12 (全5回)	47 人
カラダを動かす脳の仕組みと健康	2/22 ～ 3/29 (全5回)	66 人

(4)とりで学遊プラザリーダーバンク

生涯学習に関する各種人材(指導者)の登録派遣制度

リーダーバンク登録者 211 人(平成 25 年 3 月 31 日現在)

(5)農業ふれあい体験事業

委託料 198,000 円(取手市子ども地域活動促進事業実行委員会へ委託)

親子米づくり体験講座

市内全小学校の希望者を対象に、親子で田植え、稲刈りの体験学習を実施した。

事業名	実施日	場所	参加者
親子米づくり体験講座	5/12(田植え)	農業 ふれあい 公園	親子 201 人 (うち台東区民 39 人)
	7/7(自然観察会)		
	9/8(稲刈り)		

(6)家庭教育学級

市立幼・小中学校の親を対象に、家庭での教育力の向上及び親同士のコミュニケー

ションを図る場として家庭教育学級を設置し、社会教育指導員の指導により各学級単位の活動及び全体学習会を実施した。 26 学級 参加人数 1,515 人

○ 効果

生涯学習フェスティバルでは、活動を実践している団体の体験教室に於いて幅広い世代に対して、交流と学びの場を提供することができた。また、親子米づくり体験講座では、親子での自然体験の活動機会を提供し、学校外活動の充実を図ることができた。

出前講座では、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

家庭教育学級では、「子育てと仲間づくり」をテーマに、親の学びの場として、子育てに関する情報提供や読み聞かせ、食育、子育て講話、健康づくり、研修視察等様々な学習会を開催し、家庭での教育力の向上を図った。

**[担当：文化芸術課] P.385**

**2701 福祉会館改修事業に要する経費 6,882,750 円 (0 円)**

〈6,882,750 円〉※〈 〉は、うち 23 年度繰越分

[一財 6,882,750 円]

○ 目的

福祉会館の耐震診断結果が Is 値 0.3 未満となったため、Is 値を 0.3 以上とするとともに避難誘導設備を設置して利用者の安全性を図る。

○ 内容

(1) 委託料 771,750 円

委託名	内容	工期	金額
福祉会館建物改修工事監理業務	工事監理業務委託	5/16～8/14	351,750 円
福祉会館建物改修工事实施設計業務	工事实施設計業務委託	3/28～4/20	420,000 円

(2) 工事請負費 6,111,000 円

工事名	内容	工期	金額
福祉会館建物改修工事	建物補強改修工事	5/15～7/31	6,111,000 円

○ 効果

Is 値を 0.3 以上となり、また避難誘導設備を設置することにより利用者の安全性が確保された。

**[担当：文化芸術課] P.385**

**2801 市民芸術活動の推進に要する経費 3,570,910 円 (3,611,482 円)**

[その他 2,140,000 円 一財 1,430,910 円]

\* 特財内訳

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,140,000 円]

○ 目的

市民の文化活動及び芸術活動を援助するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	来場者数
第41回文化祭 (取手地区)	10/27, 28, 11/3 (3日間)	取手地区の文化祭を取手市文化連盟に委託。市民が日頃行っている文化活動を集約し、技芸・展示に分けて発表した。 会場：取手市立市民会館・取手市立福祉会館 委託料：1,000,000円	6,890人
平成24年度取手市藤代文化祭	10/6～11/25の土日(2ヶ月間)	藤代地区の文化祭を取手市藤代文化協会に委託。作品展、体験型催事及び部門発表を開催した。 会場：藤代公民館 委託料：500,000円	1,917人
2012取手美術作家展	6/2～6/13 (12日間)	身近な郷土作家による作品展を取手美術作家展に委託して開催した。31名43点出品。 東日本大震災復興支援チャリティー展。 ギャラリーコンサート、一般向けギャラリーツアー、市内小中学生向けギャラリーツアー(3日間)実施。 会場：とりでアートギャラリー「きらり」 委託料：640,000円	2,055人
第43回取手市美術展	10/26～12/3 (33日間)	第1部 洋画、彫刻、デザイン 101点 第2部 日本画、写真、書、工芸 107点 第3部 小中学生、特別支援学級 1,136点 会場：とりでアートギャラリー「きらり」 報償費・需用費：350,840円	4,528人

(2) 市内の文化団体への補助金交付

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	288,000円	団体の運営補助
取手市藤代文化協会	210,000円	団体の運営補助
取手少年少女合唱団	80,000円	一般公募補助事業新規採択
国際音楽の日コンサート	200,000円	一般公募補助事業新規採択

○ 効果

文化事業は恒例事業であるが、主催者が内容を工夫し、来場者数は増加している。また、各文化団体への補助金は市民の文化活動の活性化に寄与している。

[担当：文化芸術課] P. 387

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 103,113,255円(81,166,790円)

〈13,020,000円〉※〈〉は、うち23年度繰越分

[国・県 2,086,000円 地方債 13,000,000円〈13,000,000円〉 その他 5,100,000円

一財 82,927,255円]

\* 特財内訳

[国補：社会資本整備総合交付金 4,173,000円×50%≒2,086,000円]

[市債：緊急防災・減災事業債〈13,020,000円×100%≒13,000,000円〉]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 5,100,000円]

○ 目的

取手市の産業・経済・文化・教養の向上と市民の福祉増進及び住民生活の向上を図るため、市民会館及び福祉会館を設置している。

○ 内容

(1) 需用費（修繕料）2,394,000円

修繕名	内容	工期	金額
市民会館空調機三方弁修繕	空調機配管部品交換	4/19～6/30	1,249,500円
市民会館空調機冷媒ガス交換	冷媒ガス交換	4/19～5/31	1,144,500円

(2) 委託料

・平成18年度から市民会館・福祉会館の管理運営に指定管理者制度を導入している。

指定管理者：(財)取手市文化事業団

指定管理委託料：80,560,000円

年度	施設名	使用件数	入場者数	稼働率 (使用件数/使用可能日数)
H24	市民会館	230件	55,448人	85.8%
	福祉会館	6,024件	134,464人	100%
H23	市民会館	83件	35,696人	50.9%
	福祉会館	7,980件	150,908人	63.7%

福祉会館耐震補強工事実施設計業務委託料：5,565,000円

委託名	内容	工期
福祉会館耐震補強工事実施設計業務	工事実施設計業務委託	H24.7.1から H25.2.28

(3) 使用料及び賃借料（照明機器リース料）

物品名	内容	期間	金額
舞台用ピンスポットライト	舞台用ピンスポットライトをリース	H20.1.11から H25.1.10	945,000円
電話交換設備	電話交換設備をリース	H23.7.1から H28.6.30	138,600円
市民会館仮設非常用発電設備レンタル	仮設非常用発電設備設置をレンタル	4/1～8/31	420,000円

(4) 工事請負費（13,020,000円）

工事名	内容	工期
市民会館非常用発電設備設置工事	非常用発電設備を設置	5/23～8/31

○ 効果

施設の適切な維持・管理を行うことにより、文化活動の拠点として、市民の文化振興に寄与した。

[担当：文化芸術課] P.387

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 3,892,290円（4,652,861円）

[その他 2,251,000円 一財 1,641,290円]

\* 特財内訳

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,251,000 円]

○ 目的

市内に東京芸術大学のキャンパスがあるという環境を活かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の振興を推進する。

○ 内容

(1) 東京芸術大学卒業・修了作品展における取手市長賞

市長賞賞賜金：1,000,000 円 (500,000 円×2 人)

第 61 回東京芸術大学卒業・修了作品展において優秀作品 2 点(工芸)に市長賞を授与した。受賞作品は本庁舎ロビーと福祉交流センターロビーに展示した。

種類	作品名	作者
工芸 (彫金)	Spirit of mine(スピリット オブ マイン)	中本 亮
工芸 (鍛金)	守護者	若林 真耶

(2) 市内小中学校と東京芸術大学との文化交流

指導者謝礼：2,668,000 円 (東京芸術大学美術学部及び音楽学部学生等)

東京芸術大学の学生等が、交流を希望した市立小中学校で美術又は音楽の指導を行った。

- ・美術：小学校の授業で児童に絵画技法等を指導した。(交流校 14 校)
- ・音楽：中学校の吹奏楽部活動で生徒に演奏技法を指導した。(交流校 6 校)

(3) 東京芸術大学音楽学部学生によるふれあいコンサート

出演者謝礼：160,000 円

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
7/29 (日)	戸頭公民館	金管五重奏	5 人	150 人
12/15 (土)	福祉交流センター	木管五重奏	5 人	200 人

○ 効果

東京芸術大学との文化交流は、近隣市町村にはない特色ある貴重な事業である。身近に質の高い芸術に触れられるため、市民、児童生徒及び学校関係者に大変好評であり、文化・芸術の振興及び技術の向上を図ることができた。

[担当：文化芸術課] P. 389

3301 アートのあるまちづくりの推進に要する経費 30,965,189 円 (19,648,797 円)

[国・県 8,800,000 円 その他 18,241,713 円 一財 3,923,476 円]

\* 特財内訳

[県補：新しい公共の場づくり提案型モデル事業県補助金 8,800,000 円]

[諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 4,551,585 円]

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 5,940,000 円]

[諸収入：(財) 自治総合センター地域の芸術環境づくり助成金 3,000,000 円]

[諸収入：文化芸術創造発信イニシアチブ事業助成金 1,002,000 円]

[諸収入：文化芸術による心の復興事業助成金 1,148,128 円]

[諸収入：アートのあるまちづくり推進事業助成金

(取手ビッグバンドジャズフェスタ) 2,600,000 円]

○ 目的

新たな視点に立った文化事業を実施し、取手市から全国へ、文化の発信を行う。東京芸術大学のキャンパスが市内にあるという環境を活かして、東京芸術大学の知識、技術、手法などを活用した他市町村にはない、文化・芸術によるまちづくりの推進を図る。

(1) 取手ビックバンドジャズフェスタ

○ 内容

委託料：5,200,000円（取手市文化事業団）

取手市民会館、福祉会館を中心として市内各所でアマチュアバンドの演奏、市民会館にてプロバンドの演奏を行った。

○ 効果

取手市内だけでなく市街近郊からたくさんの方が来場し優れた演奏を鑑賞することができた。

(2) 取手の芸術活動連携サポート事業

○ 内容

委託料：700,000円（NPO法人取手アートプロジェクトオフィス）

市で行われる芸術活動をまちの地域資源として捉え、芸術文化団体のアート活動を資金面、広報発信面で支援した。

① アーティストの活動支援事業（10団体）

② 「とりでアートの日。」と題したとりでアートギャラリーを会場としたワークショップ事業（10団体・10本）

○ 効果

この事業をとおして取手を舞台に活動する芸術文化団体がそれぞれの活動を連携して発信することで市民の芸術体験の機会が増え、取手がより芸術に親しめる街として効果をあげた。

(3) 取手アートプロジェクト

○ 内容

補助金：3,240,000円（NPO法人取手アートプロジェクトオフィス）

取手アートプロジェクト（TAP）は、平成11年度より市民・東京芸術大学・取手市の三者が連携協力して、地域の特色を活かした芸術活動を行なっているプロジェクトである。

平成24年度テーマ	半農半芸・アートのある団地
開催期間	通年の土曜・日曜
内容	・「半農半芸」は、「美術制作ワークショッププログラム」と「知的共有ワークショップレクチャー」の2軸で構成した事業を展開し、のべ984人の参加 ・「アートのある団地」は、「ダンチイノベーターズ・プレゼンテーブル」を皮切りに、年間を通して、パートナーアーティストプログラムを開催し、のべ2,030人の参加

・継続事業の主な活動概要

① こどもプログラム

いちねんせいのさくひんてん 概要

テーマ	いつもいっしょに
開催期間	12/6～12/23
会場	とりでアートギャラリーきらり
内容	市内小学校に通う1年生全員（約900人）による作品展

その他、学校へのアーティスト派遣事業（開催校：9校）ほか

② 環境整備プログラム

戸頭団地テナントエリアの外壁修繕に係るプランニングを継続実施。

③ 国際交流事業

韓国で開催されたリクス・アートプロジェクトの関連イベント国際パフォーミングアートフェスティバルに「山中カメラ」を派遣。

○ 効果

取手アートプロジェクトは、従来のフェスティバル型から通年型のプロジェクトに移行した。今年も長期的な視野に立つ企画の枠組みとして「アートのある団地」と「半農半芸」の2つの軸でプロジェクトを展開。取手アートプロジェクトを支えるスタッフの自主的で个性的な企画運営は、評価される場所である。当事業はアートのまち、アーティストの集まるまちとして取手市に潤いをもたらしている。

(4) 新しい公共の場づくり提案型モデル事業

○ 内容

「平成24年度茨城県新しい公共の場づくりのための提案型モデル事業」で採択され、助成を受けた事業。井野団地多世代交流見守り拠点「いこいの・たっぴーの」の運営、同拠点を中心にしたアーティストプログラムの実施。

(5) 地域の芸術環境づくり助成事業

○ 内容

財団法人自治総合センター「平成24年度コミュニティ助成事業（地域の芸術環境づくり助成事業）」で採択され、助成を受けた事業。「日常に寄り添う芸術表現—コミュニティを紡ぐアート」の実施。

(6) 文化芸術創造発信イニシアチブ事業助成金

○ 内容

文化庁「平成24年度文化芸術振興費補助金（文化芸術創造発信イニシアチブ事業）」で採択され、助成を受けた事業。「郊外都市・団地から発信するクリエイティブ事業—アートのある団地」の実施。

(7) 文化芸術による心の復興事業助成金

○ 内容

文化庁「平成24年度文化芸術振興費補助金（文化芸術による心の復興事業）」で採択され、助成を受けた事業。「取手アートプロジェクト《半農半芸》—取手で土家を作る」の実施。

(8) 井野アーティストヴィレッジ

○ 内容

東京芸術大学と市が連携し、長らく空き店舗となっていた井野団地ショッピングセンターにある一棟をUR都市再生機構より借り受け、東京芸術大学卒業生や若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸提供する。

・UR都市再生機構から市が建物を借り、それを東京芸術大学が中心となって募集した

若手芸術家にアトリエとして貸し出す

- ・東京芸術大学が7戸の施設整備費を負担
- ・7戸のうち1戸は東京芸術大学が管理のため利用し、市が家賃を負担
- ・1戸につき2名以上、利用期間2年
- ・地域との交流及びオープンスタジオへの参加が条件
- ・賃借人数

スタジオ名	101 (管理運営)	102	103	104	105	106	107
賃借人数	2人	4人	4人	5人	4人	4人	4人

○ 効果

25名のアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行った。101号室で月毎に作品を入れ替え、ウインドーギャラリーとしてオープン展示をした。空き店舗を利用し地域の活性化を図り、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。

[担当：文化芸術課] P. 389

**3401 市民会館改修事業に要する経費 2,194,500円 (0円)**

[その他 2,000,000円 一財 194,500円]

\* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 2,000,000円]

○ 目的

市民会館楽屋にはトイレが1カ所しかなく利用者に不便をきたしていたので使用されなくなった浴室を改修してトイレとすることで利用者の利便性を図る。

○ 内容

(1) 工事費 2,194,500円

工事名	内容	工期	金額
市民会館楽屋改修工事	浴室をトイレに改修	7/14～9/14	2,194,500円

○ 効果

トイレが2カ所に増えることにより利用者の利便性が図られた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 391

**3501 IT基礎技術講習会に要する経費 1,094,625円 (444,990円)**

[一財 1,094,625円]

○ 目的

IT講習会の内容充実と市民の情報収集・発信能力の向上に努める。

○ 内容

IT講習会で使用してきたパソコンが老朽化と旧式化が著しくなり、講習会の運営に支障をきたしていたため、永山公民館と井野公民館の2館のパソコンを入れ替えした。

<リース期間：平成24年7月1日～平成29年6月30日(5年間)>

- ・永山公民館(受講生用18台+指導者用1台)計19台
- ・井野公民館(受講生用18台+指導者用1台)計19台

○ 効果

最新のパソコンで学習することで学習効率が高められ、多くの受講生の技術向上に寄与した。



[担当：文化芸術課] P. 391

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 6,919,002円(6,806,186円)

[その他 339,900円 一財 6,579,102円]

\* 特財内訳

[使用料：アートギャラリー使用料 244,800円]

[使用料：市民ギャラリー使用料 95,100円]

○ 目的

郷土作家、市民及び行政が一体となり創り上げたギャラリーにおいて、芸術作品の発表の場として、さらには文化・芸術交流の場として幅広い活動を展開する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	入場者数
世界にひとつの アート傘展	5/22～ 5/30	JOBAN アートライン協議会の事業として平成 23 年 10 月 22 日に開催した「JOBAN アートアンブレラ in 北千住 Vol. 3」で東京芸術大学生がライブペイントしたアート傘を展示。	147 人
「輝く茨城の先人 たち」ポスター展/ とりで風景画展	6/16～ 6/27	茨城県が作成した本県ゆかりの人物を紹介する冊子「輝く茨城の先人たち」に掲載されている人物を紹介するポスターと取手の風景画を展示	358 人
取手時間・濱田時 間（濱田雅三展）	7/14～ 7/27	取手で生まれ、東京芸術大学出身である濱田雅三氏の絵画、モザイク画等を展示	934 人
にこにこ元気な とりでっ子！	8/1～9/2	市内の公立、私立保育所（園）15カ所に通う4歳児、5歳児の絵画約600点を合同で展示。合わせて4カ所の子育て支援センターの取り組みを紹介した。（第3回）	1,174 人
とりでアートの 日 2012	8/1～9/2	市内の芸術家団体が幼児から大人まで楽しめるワークショップを10本開催した。	132 人
取手音楽の日 取手 JAZZ DAYz!	9/29～ 9/30	「音楽による街づくり事業」として、プロ・アマチュアジャズミュージシャンによる演奏を披露。	196 人
グラフィカ写真 展	12/26～ 1/14	郷土茨城をテーマに追及してきた写真家集団グラフィカの写真展。今回のテーマは「茨城はいま・PART8」～第一線に生きる～	158 人
小中学生児童生 徒作品展	1/25～ 2/11	市内小中学生による絵画、書写、科学研究・発明工夫、統計グラフ（県展入選作品を含む）の優秀作品展。	1,722 人

(2) アートギャラリーきらり貸出実績

期間	展示名
4/6 ～4/10	聖和会書道展
4/18～4/24	東日本銀行OBと家族の作品展
4/27～ 5/3	第20回絵を描く仲間達展
5/5 ～ 5/11	貝原浩「風しもの村」原画展
5/13～5/20	A：ペットにがおえ HEARTFULWORLD 展
5/13～5/20	B：戸高武敏 近作展

6/30～7/5	君光と門人たち展
9/12～9/18	全日本写真連盟第31回取手支部写真展
10/6～10/11	復興応援すこやか書画展
10/14～10/21	A：いばら会パステル画展
10/14～10/21	B：MOA美術館茨城県児童作品展
12/6～12/23	いちねんせいのさくひんてん
2/27～3/6	第32回取手洋画クラブ展
3/8～3/17	A：戸高武敏 新作展
3/8～3/17	B：萌黄の会写真展
3/20～3/25	第4回茨城県南書展
3/30～3/31	TORIDE JAM SPRING

### (3) 市民ギャラリーの管理

市民の発表の場として、取手駅東西連絡地下道及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸し出しを行なった。

#### ・利用件数

ギャラリー名	H24年度	H23年度
取手駅市民ギャラリー	53件	57件
藤代駅市民ギャラリー	26件	31件

#### ○ 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化の交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与できた。

### [担当：スポーツ生涯学習課] P. 391

**3801 放課後児童対策事業に要する経費 122,300,009円(180,347,516円)**

[国・県 33,868,000円 その他 34,144,989円 一財 54,287,020円]

#### \* 特財内訳

[県補：放課後児童対策事業補助金

放課後子ども教室推進事業補助金 @20,195,181×2/3≒13,463,000円

放課後児童健全育成事業補助金 @30,608,000×2/3≒20,405,000円]

[負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 33,604,250円]

[諸収入：雇用保険料本人負担金 540,739円]

#### ○ 目的

市内の小学校に通う全児童を対象として、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、子どもの健全育成を図る。

#### ○ 内容

子どもの居場所づくり事業と児童クラブ事業を一体化し、平成20年度から「放課後子どもクラブ」として市内全小学校18校で開設している。

放課後や夏休み等の長期休業中に、小学校1年生から小学校6年生を対象に、安全で安心な子どもの活動拠点を小学校に設け、児童の健全育成を図る児童クラブと一体化した形で、様々な体験活動を行うなど、総合的な放課後児童対策事業として実施した。

学習アドバイザーの活用や各種ボランティアとの交流など内容の充実に努めた。

(1)放課後子どもクラブ登録児童数（通常利用登録者）

平成 25 年 3 月 1 日現在（単位：人）

小学校名	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合 計
取 手 小	51	22	38	38	11	8	168
白 山 小	34	33	35	24	8	8	142
小文間小	5	7	2	3	1	2	20
寺 原 小	38	42	26	24	6	9	145
永 山 小	35	31	27	17	6	1	117
井 野 小	12	17	16	11	13	6	75
白山西小	17	11	11	9	5	10	63
戸頭西小	22	20	25	12	20	5	104
吉 田 小	40	13	18	14	0	10	95
戸頭東小	33	35	31	16	13	3	131
稲 小	22	15	12	14	7	5	75
高 井 小	9	14	5	6	0	2	36
山 王 小	15	9	12	5	6	2	49
六 郷 小	10	12	24	14	2	10	72
藤 代 小	32	32	22	32	10	6	134
宮和田小	43	21	36	11	16	5	132
久 賀 小	17	20	19	12	8	0	76
桜が丘小	35	30	27	14	13	2	121
合 計	470	384	386	276	145	94	1,755

○ 効果

児童の健全育成のために貢献する事ができた。また、全学年・全児童を対象とした事で異学年間の交流も図ることができた。

## 5 社会教育費 2 公民館費

[担当：公民館] P. 393

0501 公民館事務に要する経費 63,503,385 円 (54,361,135 円)

[その他 18,338,274 円 一財 45,165,111 円]

\* 特財内訳

[使用料：公民館使用料 5,143,980 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 12,700,000 円]

[諸収入：コピー使用料 474,284 円]

[諸収入：電話通話料 9,510 円]

[諸収入：電気使用状況モニター 10,500 円]

○ 目的

公民館施設の適切な管理運営と施設整備を行うことにより、市民の利用環境の充実を図る。

○ 内容

主な修繕・工事	・ 畳の表替え修繕	623,700 円
	・ 網戸修繕	1,573,021 円
	・ 六郷公民館トイレ修繕	273,000 円

・藤代公民館非常用放送設備修繕	1,039,500円
・相馬南公民館空調設備改修工事	4,882,500円
・六郷公民館空調設備改修工事	2,709,000円
・井野公民館事務室棟2階屋根改修工事	1,260,000円
・寺原公民館改修工事	1,575,000円
・藤代公民館引込ケーブル改修工事	2,509,500円

○ 効果

六郷公民館のトイレの一部を洋式化し、利用者の利便性を図った。  
 老朽化による機能損失の著しい相馬南公民館並びに六郷公民館の空調設備を改修、藤代公民館・高須公民館・白山公民館・井野公民館・寺原公民館・永山公民館においては網戸修繕をし、維持管理費用の軽減を図った。

また、藤代公民館の電気の引き込みケーブルの老朽化による不良により、たびたび停電したため、新たに空中線によりケーブルを引き込み、利用者への影響の無いよう短期間での工事を行った。

[担当：公民館] P. 397

2101 公民館活動に要する経費 1,565,195円 (1,444,412円)

[一財 1,565,195円]

○ 目的

公民館は、地域住民にとって最も身近な学習拠点として、教養の向上、生活文化の振興、社会福祉の増進等に寄与し、自主的な学習活動及び交流の場として重要な役割を担う。そのため、地域の特色を生かした事業を展開し、地域の振興を図る。

○ 内容

(1) 公民館各種事業

市内14公民館において、多様化する住民の学習ニーズ、高度化する学習内容に対応した活動の充実を図るため、それぞれの世代を対象にした講座、講演会及び子どもふれあいスクール事業などの公民館事業を展開した。

対象	事業名	期 間	回数	受講者数(人)	事業内容及び結果
青少年	おもしろ理科実験先生教室	7月	1	60	理科の実験の楽しさを学習した。戸頭公民館にて、戸頭子どもふれあい広場と共催。
	戸頭子どもまつり	7月	1	350	レクリエーションを通じて地域の子どもたちの交流を図る。
	平和映画会	7～8月 3館	3	46	総務課と共催。平和映画を鑑賞することにより、戦争の悲惨さ、平和の大切さを学ぶ。
	サマースクール	7～8月 5館	5	62	子供工作教室、いちごパックを使って、色々な飾りを施したティッシュボックス・小物入れを作る。
	親子でキャラ弁講座	7月	1	20	今人気のキャラクター弁当の作り方を楽しむ。

	トールペイント教室	8月	1	27	木の素材に色を塗って、トールペイントを楽しみ、オリジナル作品を作成する。
	子どもふれあい スクール事業他	11~1月	2	381	ふれあい広場、新春子どもの集い等世代間交流事業を開催。
	クリスマス人形劇	12月	1	150	劇団どんぐりによるクリスマス公演を開催した。
	クリスマスケーキ づくり教室	12月	1	38	クリスマスケーキ作りを楽しく学ぶ。戸頭公民館にて、戸頭子どもふれあい広場と共催。
	たこあげ大会 たこ作り教室	1月	1	30	正月の風物詩であるたこあげ大会とたこ作り教室を開催。
	昔の遊びと 今の遊び教室	11月	1	28	ベーゴマやあやとり、折り紙などの昔の遊びを中心に、今の遊びやゲームなどを行った。
	抹茶の点て方体験講座	2月	1	20	公民館まつりお茶席会場での体験講座。抹茶の点て方を学ぶ。
	作ってあそぼう！ おり紙とバルーン	2月	1	45	おり紙とバルーン作りを体験。
	レザークラフト 体験講座	3月	1	20	公民館まつりでの体験講座。皮工芸でパステスの作成。
婦人	婦人学級	年間	各学級 11~12	1学級 11人~36人 8学級(206人)	出会いを大切に視野を広げ、楽しく学習しながら心豊かな人間性を高めた。
高齢者	高齢者学級	年間	各学級 11~12	1学級につき 19人~98人 3学級(157人)	敬愛される高齢者を目指して、健康・趣味・奉仕活動等を積極的に行い、物の見方や考え方、生きがいを見い出した。
	藤代学園	年間	11	831	学習、趣味活動を通じて、社会情勢への円滑な適応を図った。
	輪投げ大会	8月	1	19	高齢者で、輪投げ大会をし交流を深めた。
成人	ふるさと講座	9~11月 2館	6	144	郷土に関することの学習を通し、郷土愛と交流を深めた。
	グリーンカーテン張	6月	1	6	節電対策の一環として、庁舎に設置した。
	着付け教室	7~12月 2館	3	18	ゆかたや、正月の着物の着付けを学習した。
	お父さんのつどい お母さんのつどい	10月	1	36	高須地区のお父さん、お母さんの研修視察を行い、交流を図る。
	そば打ち	11~12月 2館	2	31	自分でそばを打つ楽しさと秋の味覚を楽しんだ。
	しめ飾り講座	12月 8館	9	208	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。

一 般	さ つ き 展	6月	1	55	地域住民によるさつきの展示で地域の親睦を深めた。
	ソフトボール大会	6~10月 2館	2	178	ソフトボールの振興と地域親善を目指し、互いに交流を深めた。
	親子ふれあい フェスティバル	8月	1	177	親子を対象に、流しそうめん大会や、すいか割り等を高須公民館で実施した。
	夏まつり	8月 3館	3	1,450	夏の風物詩の盆踊り、模擬店等で、地域の親睦を深める。
	運 動 会	6~10月 4館	4	1,400	小文間、六郷、山王は小学校と合同。
	収 納 術 講 座	9月	1	22	テレビでも活躍している吉田トシコ氏を講師に収納のポイント講座。
	健 康 づ く り 講 座	10月	1	30	筑波大名譽教授による腰痛・膝痛予防の講座。
	ゲ ー ト ボ ー ル 大 会	10月 2館共催	1	40	健康増進と地域の親睦を目指し、交流を深めた。 (戸頭・永山共催)
	ペ タ ン ク 大 会	10月	1	47	スポーツ(ペタンク)を通じて、各世代間の交流を図った。
	菊 花 展	11月	1	53	地域住民による菊の展示で地域の親睦を深めた。
	ク リ ス マ ス コ ン サ ー ト	12月	1	150	地域の音楽家による、みんなで楽しめるコンサートを開催。
	やさしい手相入門	2月	1	36	手相学の基本など占い全般を楽しく学んだ
	エンディングノートの 書 き 方 講 座	1~2月 2館	2	82	大切な人に届けるエンディングノートの書き方講座
	フ ァ ミ リ ー ウ ォ ー ク ラ リ ー	2月	1	300	相馬南公民館まつりと同時開催。家族や仲間と地図を片手に歩くゲームを開催した。
公 民 館 ま つ り	2~3月 11館	11	5,229	作品展示や催しもの等、公民館で活動する団体による発表と地域交流の場を提供した。	

(2) 各公民館利用状況

公民館名	年度	開館日数(日)	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中央公民館	H24	343	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	H23	343		
小文間公民館	H24	333	1,547	16,617
	H23	335	1,570	17,186
永山公民館	H24	333	2,954	43,760
	H23	335	2,814	43,866
寺原公民館	H24	272	1,833	28,551
	H23	336	2,297	36,808

井野公民館	H24	337	4,991	94,510
	H23	339	4,729	93,373
戸頭公民館	H24	337	4,280	76,180
	H23	339	4,105	80,495
白山公民館	H24	333	3,384	72,308
	H23	335	3,001	62,575
藤代公民館	H24	338	3,039	61,249
	H23	340	2,748	54,022
山王公民館	H24	333	594	6,658
	H23	335	596	6,450
六郷公民館	H24	333	1,016	15,912
	H23	335	1,009	14,892
相馬公民館	H24	333	980	12,887
	H23	335	1,042	12,620
相馬南公民館	H24	333	1,487	23,202
	H23	309	1,268	18,311
高須公民館	H24	333	444	5,622
	H23	323	408	4,968
久賀公民館	H24	333	962	13,028
	H23	335	945	12,218
計	H24		27,511	470,484
	H23		26,532	457,784

○ 効果

地域の環境により、学級講座等の事業内容をそれぞれ特色のあるもので充実を図ったことで、大切な地域の拠点である公民館で、まちづくりや人づくりを推進させることができた。

## 5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P. 399

2001 図書館管理運営に要する経費 24,843,798 円 (21,875,799 円)

[その他 3,200,000 円 一財 21,643,798 円]

\* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 3,200,000 円]

○ 目的

図書館の利用者に安全で快適な場・空間を提供し、生涯学習活動の拠点として、市民の教育・文化の発展に寄与する。

○ 内容

自由で公平な資料提供を中心とする奉仕活動を行うため、適切な図書館施設の維持管理を行う。

24 年度は、取手図書館に係る修繕のため、公共施設整備基金より、3,200,000 円繰

り入れた。基金を充当している主な事業の決算額は、屋上防水修繕 918,750 円、車庫シャッター取替 1,239,000 円、LED 避難灯修繕 945,000 円となる。

○ 効果

施設の維持、修繕等を行うことにより、快適な図書館環境の提供が図れた。

[担当：図書館] P. 399

2101 図書館活動に要する経費 46,988,387 円 (46,366,337 円)

[その他 238,734 円 一財 46,749,653 円]

\* 特財内訳

[諸収入：コピー使用料 172,010 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 66,724 円]

○ 目的

市民の多様化するニーズに対応すべく、読書環境の整備と奉仕活動の強化に努め、利用者へのより質の高いサービスと文化的で有意義な図書館資料の提供を図る。

○ 内容

(1) 主な事業

- ・子育て支援 ブックスタート事業 (年間 33 回 674 冊)  
幼児・児童向け読み聞かせ (のべ 38 回開催 参加者 440 人)
- ・学校との連携 学校図書館への支援 (司書教諭との合同会議及び研修 2 回)  
学校訪問お話し会 (市内小学校 18 校 3・6 年生対象 1,279 人)
- ・図書館だより ライブラリープラス (6 回発行)、ほんバナ (4 回発行)
- ・図書館まつり 取手図書館 (7/22 1,807 人)  
ふじしろ図書館 (4/21～22 2,935 人)

(2) 登録者数

(単位：人)

年齢別 登録者数	0～ 6 歳	7～ 12 歳	13～ 15 歳	16～ 18 歳	19～ 22 歳	23～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60 歳 ～	合計
H24	714	2,792	2,175	2,294	2,795	4,493	7,376	6,421	4,403	12,180	45,643
H23	707	2,881	2,206	2,135	2,565	4,332	7,117	5,795	4,273	11,188	43,199
H22	715	3,062	2,298	2,279	2,826	4,677	7,673	5,975	4,565	11,279	45,349
H21	694	3,064	2,283	2,161	2,679	4,302	7,204	5,367	4,573	10,081	42,408
H20	676	3,191	2,398	2,427	3,019	4,490	7,796	5,724	4,960	9,506	44,187

(3) 利用状況

・入館者数

館名	入館者数 (単位：人)				
	H24	H23	H22	H21	H20
取手図書館	179,498	170,614	182,309	190,857	182,250
ふじしろ図書館	202,396	198,107	190,921	189,824	180,667
合計	381,894	368,721	373,230	380,681	362,917



・館別貸出者数

館名	貸出者数（単位：人）				
	H24	H23	H22	H21	H20
取手図書館	85,525	84,016	89,244	91,449	88,743
ふじしろ図書館	89,939	89,870	87,543	83,553	69,487
戸頭公民館図書室	44,119	45,576	42,406	42,782	41,966
小文間公民館図書室	304	277	307	314	251
寺原公民館図書室	3,609	3,712	3,703	3,551	2,985
永山公民館図書室	741	761	744	564	488
ゆうあいプラザ図書室	3,217	3,165	2,848	2,847	3,003
井野公民館	1,778	1,786	1,663	1,805	1,274
取手駅前窓口	3,852	4,047	4,024	4,323	3,523
山王公民館	154	124	143	109	61
六郷公民館	608	559	573	472	173
相馬南公民館	479	392	550	630	324
久賀公民館	6	2	6	0	22
合計	234,331	234,287	233,754	232,399	212,300

・貸出冊数

館名	貸出冊数（単位：冊）				
	H24	H23	H22	H21	H20
取手図書館	273,067	267,856	287,956	301,944	299,164
ふじしろ図書館	277,829	279,526	265,928	250,769	225,923
戸頭公民館図書室	127,311	133,753	128,775	129,965	132,059
小文間公民館図書室	638	599	641	660	580
寺原公民館図書室	7,280	7,881	8,011	8,166	6,991
永山公民館図書室	1,655	1,698	2,067	1,581	1,300
ゆうあいプラザ図書室	7,942	8,011	7,375	7,316	7,726
井野公民館	3,396	3,248	3,281	3,844	2,573
取手駅前窓口	6,695	7,218	7,444	7,954	6,588
山王公民館	230	181	205	151	102
六郷公民館	1,104	978	1,109	976	413
相馬南公民館	778	654	945	1,071	600
久賀公民館	8	2	9	0	44
合計	707,933	711,605	713,746	714,397	684,063

・予約（リクエスト）月別利用状況

月別	予約（リクエスト）件数（件）				
	H24	H23	H22	H21	H20
4月	9,288	7,715	9,327	8,384	7,770
5月	8,885	9,572	9,403	8,839	8,567
6月	8,683	8,629	7,907	8,299	5,035

7月	9,357	9,897	10,034	9,502	8,925
8月	9,188	9,987	9,339	9,092	9,285
9月	9,691	9,617	9,539	8,920	8,409
10月	9,451	9,689	10,119	9,719	9,268
11月	8,834	9,191	8,888	9,048	8,570
12月	8,788	8,488	9,625	8,579	8,302
1月	9,034	9,161	9,552	9,822	8,257
2月	9,370	9,809	9,130	9,276	8,504
3月	9,692	9,730	6,207	9,514	8,243
合計	110,261	111,485	109,070	108,994	99,135

○ 効果

図書館主催、ボランティアとの共催により、市民の読書活動、または図書館そのものに対する関心を高めるような行事を行った。平成24年4月より『取手市子ども読書活動推進計画』を施行し、また、ブックスタート事業を、配布冊数を見直しながらも引き続き実施するなど、子どもの読書活動推進のための事業に力を入れた。

[担当：図書館] P. 401

2201 図書館資料購入に要する経費 31,407,502円 (35,432,361円)

[その他 141,685円 一財 31,265,817円]

\* 特財内訳

[諸収入：図書弁償金 85,374円]

[諸収入：広告掲載料 56,311円]

○ 目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

○ 内容

図書館の収集方針に基づき、資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・館別蔵書数

館名	図書(単位:冊)				
	H24	H23	H22	H21	H20
取手図書館	131,109	127,402	136,748	143,984	141,553
ふじしろ図書館	126,883	121,112	114,403	108,711	101,790
戸頭公民館図書室	56,909	56,766	58,890	58,043	57,228
小文間公民館図書室	2,668	2,487	2,437	2,181	2,216
寺原公民館図書室	4,604	4,870	5,099	4,824	5,288
永山公民館図書室	5,291	4,898	4,856	4,656	4,735
ゆうあいプラザ図書室	11,918	11,629	11,533	11,615	11,989
合計	339,382	329,164	333,966	334,014	324,799

館名	雑誌 (単位:種類)				
	H24	H23	H22	H21	H20
取手図書館	93	99	97	96	96
ふじしろ図書館	96	101	104	107	107
戸頭公民館図書室	33	33	34	33	33
合計	2) 176	2) 185	2) 198	2) 196	196

館名	AV (単位:件)				
	H24	H23	H22	H21	H20
取手図書館	149	36			
ふじしろ図書館	4,404	4,303	4,094	3,963	3,827
合計	4,553	4,339	4,094	3,963	3,827

1)蔵書冊数には寄贈本を含む。 2)全体の雑誌種類数(各館間で重複する雑誌は1つと数える)

○ 効果

各館の特徴を活かした資料収集・整備に努めたことで、利用者サービスが拡大した。

## 5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当:教育総務課] P.403

2001 文化財保護に要する経費 2,039,455円(621,635円)

[一財 2,039,455円]

○ 目的

文化財は市民共有の財産であり、地域の歴史の歩みを後世に永く伝える貴重な資料でもあるので、文化財保護法や県・市条例によって文化財保護が義務付けられている。市内の国・県・市指定文化財の保護・活用につとめ、未指定の文化財についても調査を進める。

○ 内容

(1) 指定文化財補助金交付 (1,928,000円)

指定文化財等補助金交付要綱に基づき、指定文化財の日常管理や修理・整備に対して補助金を交付した。

(単位:円)

指定	指定文化財の名称	日常管理補助金	防災設備保守点検補助金	その他
		定額	補助率 7/8 以内	補助率 1/2 以内
国	龍禅寺 三仏堂	9,000	60,000	
県	本多作左衛門重次墳墓(本願寺)	9,000		
	大日山古墳(岡神社)	9,000		
	地藏ケヤキ(高源寺)	9,000		
	長禅寺 三世堂	9,000	30,000	

市	八坂神社 本殿・拝殿	9,000	50,000	1,528,000 [本殿・拝殿修理]
	東漸寺 山門・観音堂	9,000	35,000	
	白山神社 本殿	9,000	36,000	[定額] 9,000 [文化財防火デー]
	中妻貝塚 (福永寺)	9,000		81,000 [維持管理(草刈)]
	阿弥陀如来坐像 (金仙寺)	9,000		
	絹本金地刺繍釈迦涅槃 図 (信楽寺)	9,000		

(2) 文化財保護強調週間に伴う特別公開

11月1日から7日の文化財保護強調週間に合わせ、県・市指定文化財「旧取手宿本陣」と県指定文化財「長禅寺三世堂」の特別公開を実施した。

旧取手宿本陣 (10月26日～11月4日)

公開日	内容	参加人数	備考
10/26～11/4	特別公開	283人	
11/3(土・祝)	講演会	95人	「取手と周辺に残る源平の伝説－源頼政と平国香・貞盛を中心に－」講師：埋蔵文化財センター職員
合 計		378人	講演会参加者を含む

長禅寺三世堂 (11月2日～11月4日)

公開日	内容	参加人数	備考
11/2～11/4	内部特別公開	332人	

(3) 文化財防火デー (1月24日) に伴う消防訓練

文化財愛護と保護の意識を高めるため、指定文化財の建造物所有者の協力を得て、毎年総合消防訓練を実施している。平成24年度は1月24日に実施した。

(4) 市指定文化財「白山神社本殿」覆い屋内部特別公開

市指定文化財「白山神社本殿」覆い屋の内部特別公開を、消防訓練に合わせて実施した。

実施日	実施文化財	参加者数	協力者
1/24	市指定文化財 「白山神社本殿」	260人	地元消防団・地元住民 文化財保護審議委員

○ 効果

文化財の保存・管理について、補助金を交付することで、管理者の負担を軽減するとともに維持・修理を計画的に実施することができた。また、市民の文化財に対する理解と意識の高揚に寄与した。

[担当：教育総務課] P. 403

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 7,291,634円 (6,800,232円)

[その他 240,000円 一財 7,051,634円]

\* 特財内訳

[諸収入：本陣駐車場使用料 240,000 円]

○ 目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	見学者	平均	内容
H24	週3日 (金・土・日)	159日	5,941人	37.4人	・修復工事のビデオを随時放送。 ・土間でパネル展を実施した。 ・小学校などの団体見学では、職員が説明を行った。
H23	同上	158日	4,979人	31.5人	同上

(2) 管理・運営経費

- ・一般公開に関する経費：39,682円

内 訳	支 出 額
消耗品費（パンフレット用紙等）	39,682円

- ・維持管理に関する経費：7,251,952円

内 訳	支 出 額
史跡指定地・駐車場賃借料	4,792,274円
日常管理委託料	478,800円
庭園維持管理委託料	777,000円
樹木伐採委託料	199,500円
機械警備委託料	88,200円
消防用設備保守点検委託料	166,950円
火災保険料	51,921円
光熱水費・通信運搬費・下水道使用料	269,432円
修繕料（裏山歌碑誘導路）	427,875円

○ 効果

旧取手宿本陣の公開は、市民の歴史や文化財に対する関心を高めている。また、見学者の約6割が市外からの訪問者であり、市の観光資源として活用されている。24年度は、23年度に引き続き取手宿ひなまつりに会場として貸し出し、多くの見学者に対し文化財に触れる機会を作ることができた。

[担当：教育総務課] P.405

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 590,082円 (2,450,174円)

[その他 279,700円 一財 310,382円]

\* 特財内訳

[負担金：発掘調査原因者負担金 250,000×1件=250,000円]

[諸収入：郷土史売却代 29,700円]

○ 目的

取手市埋蔵文化財取扱い要領に基づき土木工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確認調査や発掘調査に迅速に対応する。発掘調査によって貴重な埋蔵文化財を記録する。

○ 内容

(1) 市内遺跡確認・緊急調査の概要

確認調査（試掘）や個人住宅の発掘調査を、市が実施した。（事業経費：590,082円）

遺跡名・事由・面積	期 間	人員数・経費	内 容
新屋敷遺跡 宅地造成・4,771.62 ㎡	4/19～25	委託料 48,856円 (作業員3名)	遺構・遺物なし
西方貝塚 個人住宅・433.90㎡	8/15・16	職員作業	遺構・遺物なし
西方貝塚 個人住宅・353.06㎡	9/25・26	委託料 21,319円 (作業員2名)	遺構・遺物なし
大鹿城跡 無線基地局・80㎡	10/1～4	委託料 32,867円 (作業員2名)	遺構・遺物なし
中妻貝塚 個人住宅・340.54㎡	12/13～18	委託料 93,271円 (作業員4名)	縄文土器
南中原遺跡 個人住宅・190㎡	12/17・18	職員作業	遺構・遺物なし
大渡遺跡 個人住宅・485.91㎡	2/12・13	委託料 31,978円 (作業員3名)	遺構・遺物なし

(2) 新屋敷遺跡発掘調査（事業者（原因者）負担事業）

宅地造成により保存が困難である新屋敷遺跡を記録保存するための発掘調査事業。原因者である事業者の経費負担により H23 に発掘調査を行ない、H24 は出土遺物の整理作業を実施した。

・発掘調査・整理作業概要

事 項	概 要
調 査 実 施 区 域	取手市戸頭字白旗 239-1 ほか (3,598㎡)
調 査 要 因	宅地造成に伴う事前発掘調査
出 土 品 等	平安時代住居跡、縄文土器、土師器・須恵器等
整 理 作 業 期 間	平成 25 年 8 月 17 日～8 月 31 日

・整理経費（250,000円）

経 費 内 訳	支 出 額	内 容
整 理 作 業	250,000円	
委 託 料	( 207,900円)	整理作業員委託料
消 耗 品 費	( 35,590円)	整理作業消耗品費
印 刷 製 本 費	( 6,510円)	整理作業印刷製本費

○ 効果

平成 24 年度は、6 遺跡 7 件の確認調査で、縄文時代から中世の遺跡を調査し、縄文土器などの貴重な資料が出土した。これらの調査により、重要な市内遺跡の破壊を防ぎ、貴重な資料を得ることができた。

[担当：教育総務課] P. 405

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 649,378円 (705,430円)

[一財 649,378円]

○ 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料を収納するとともに、その整理・研究成果を市民に紹介するため、企画展示・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対する関心や、文化財保護行政に関する理解を深める。

○ 内容

(1) 年間来館者数

年度	平成24年度	平成23年度
来館者数	4,618人	6,244人

(2) 展示活動

展示名	期間	入場者数 (1日平均)	経費	内容
第31回企画展 「絵図・地図・ 写真で見る郷 土の歩み」	2/20～4/20 開館61日 内4/1～20 までで20日	2,013人 (33.0人) 4/1～20ま でで626人 (31.3人)	報償費、印刷 製本費は平 成23年度予 算で対応 (4/1以降 は支出なし)	江戸時代の絵図や明治以降の 地図、写真から郷土の歩みを 視覚的にたどった。 4/7公開講座「伊奈半十郎忠治 と岡堰・相馬二万石」 参加者113名、講師：埋蔵文 化財センター職員
第32回企画展 「昔の暮ら し・古い道具」	7/23～9/21 開館61日	1,228人 (20.1人)	報償費 30,000円 印刷製本費 271,950円 (ポスター、解説 図録)	8/25講演会「布に映る人と暮 らし～布とつきあう、布を着 尽くす～」 参加者47人、講師：宮本八恵 子氏（日本民具学会理事） 8/10～12特別公開「民俗資料 収蔵庫」参加者54人 9/16公開講座「取手と藤代の 暮らしの移り変わり」 参加者47人、講師：埋蔵文化 財センター職員
第33回企画展 「アジアの西 と東 メソポ タミア8000年 と取手」	2/25～4/26 開館61日 内3/31まで で35日	1,233人 (20.2人) 3/31までで 657人 (18.8人)	報償費 30,000円 印刷製本費 271,950円 (ポスター、解説 図録)	市民から寄贈を受けたイラク 出土の考古遺物と、取手市出 土の考古遺物を展示して、メ ソポタミアと取手の歴史を紹 介した。 3/30講演会「現代文明の基層 としての古代西アジア文明」 参加者77名、講師：常木 晃 氏（筑波大学教授） 3/2講座「粘土に書かれた歴 史」 参加者47名、講師：埋蔵文化 財センター職員

○ 効果

平成 24 年度の来館者数は 4,618 人となり、センターの存在と活動が着実に市民に浸透し理解されてきたといえる。こうした活動により、市民の歴史への関心が深まり、文化財を大切にすゝる気持ちや文化財保護行政に対する理解を得ることができた。

## 6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 409

1001 スポーツ推進委員に要する経費 1,180,091 円 (973,100 円)

[一財 1,180,091 円]

○ 目的

市民の体力づくりと地域スポーツ活動の振興及び生涯スポーツの振興を図る。

○ 内容

市民のスポーツ活動促進のための組織の育成や、各種大会への指導助言と協力及び自主企画によるニュースポーツの普及と拡大に努めた。

スポーツ推進委員報酬 日額 6,300 円×延べ 164 人=1,033,200 円

○ 効果

スポーツ推進委員の活動により、地域スポーツの振興が図られ、多くの市民の健康と体力づくりに寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 409

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 9,325,000 円 (9,573,000 円)

[一財 9,325,000 円]

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
体育協会	32 部	7,473 人	体協親睦会・講演会の開催、視察研修各種講習会の開催、機関紙の発行、市主催行事への協力及び参加、競技別大会の企画運営、指導者の育成
スポーツ少年団	9 連盟 37 単位団	指導者 302 人 団員 1,066 人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室の企画運営、認定員養成講習会、取手ブロック近隣市町村交流会、市主催行事への協力及び参加、各種講習・研修会への参加

○ 効果

体育協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。

また、スポーツ少年団は、青少年のスポーツ指導はもちろんのこと認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。



[担当：スポーツ生涯学習課] P. 411

2002 社会体育振興関係経費 862,490 円 (783,782 円)

[一財 862,490 円]

○ 目的

市民の健康・体力づくりとスポーツ振興を図る。

○ 内容

生涯スポーツを通じて、心身の健康を保持・増進できるよう、誰もが参加できる各種の大会や体験会を実施した。

(1) 各種大会等の開催

事業名	参加人数	場所
第17回 小学生ドッジボール大会	206人	取手グリーンスポーツセンター
第44回 市民釣り大会	50人	さくら湖 (小堀地先)
第43回 市民ゴルフ大会	190人	利根パークゴルフ場
第9回 市民親善ソフトボール大会	201人	取手緑地運動公園
第21回 ソフトバレーボール大会	246人	取手グリーンスポーツセンター
第13回 グラウンドゴルフ大会	135人	取手緑地運動公園
体力測定	120人	取手緑地運動公園
第41回新春健康マラソン大会	1,553人	取手緑地運動公園
第20回ふれあいウォーキング	120人	取手緑地運動公園
第7回市民ペタンク大会	198人	小貝川多目的広場

○ 効果

各種大会を通じて小学生から高齢者まで幅広くスポーツの楽しさを広めるとともに、市民相互の交流が深められ、参加者の健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 411

2003 スポーツ振興奨励関係経費 1,095,000 円 (1,049,000 円)

[一財 1,095,000 円]

○ 目的

社会体育関係団体を助成することにより、選手の育成と市民に対するスポーツ振興及び団体の育成を図る。また、身近なスポーツ・レクリエーション活動を支援する。

○ 内容

関東大会以上の大会に出場した者に対し、奨励金を支給することにより出場選手の負担の軽減と優秀選手の育成を図った。

奨励金交付対象 ・団体 11 件 ・個人 27 件

○ 効果

奨励金制度を活用することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体の育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 411

2101 学校施設開放に要する経費 466,875 円 (528,341 円)

[一財 466,875 円]

○ 目的

小中学校の学校体育施設を開放することにより、スポーツ振興と健康増進を図る。

○ 内容

市民が行うスポーツレクリエーション、文化的活動を支援するため、学校体育施設の開放を実施した。

年度	利用団体数	延利用人数	開放学校数	開放施設数
H24	230 団体	317,427 人	25 校	58
H23	249 団体	333,448 人	26 校	58

○ 効果

市民の健康、体力増進と学校体育施設の有効利用を図ることができた。

## 6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 411

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 144,602,236 円  
(122,958,449 円)

[その他 20,000,000 円 一財 124,602,236 円]

\* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 20,000,000 円]

○ 目的

市民スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行うことで市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

○ 内容

平成 18 年度より、指定管理者による管理を実施している。

・ 指定管理料 120,661,000 円

利用状況

(単位：人)

施設名	H24	H23	増減
室内プール	107,863	97,214	10,649
遊水プール	17,547	14,836	2,711
第一体育室	63,727	63,512	215
第二体育室	9,038	7,995	1,043
トレーニング室	46,812	42,739	4,073
柔道場	11,337	12,070	△733
剣道場	10,415	11,347	△932
弓道場	12,290	10,393	1,897
スポーツサウナ	0	0	0
健康相談室	49	24	25
スポーツ障害相談室	292	238	54
研修室	14,047	11,379	2,668
会議室	1,107	552	555

和	室	785	730	55
そ	の	16,999	14,443	2,556
合	計	312,308	287,472	24,836

○ 効果

近年は中高年者の利用も増加傾向にあり、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 413

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 36,223,717円 (40,033,340円)

[その他 8,311,100円 一財 27,912,617円]

\* 特財内訳

[使用料：テニスコート使用料 1,520,300円]

[使用料：野球場使用料 1,172,500円]

[使用料：多目的グラウンド使用料 222,150円]

[使用料：総合体育館使用料 2,853,620円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 2,500,000円]

[諸収入：コピー使用料 42,510円]

[諸収入：電話通話料 20円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの拠点施設として、また憩いの場としての公園施設の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

施設名	H24	H23	増減
アリーナ	32,550人	34,007人	△1,457人
レクリエーション室	4,735人	5,506人	△771人
多目的グラウンド	5,061人	5,018人	43人
野球場	9,594人	7,331人	2,263人
藤スポ・テニスコート	11,513人	10,022人	1,491人
久賀テニスコート	271人	352人	△81人
会議室	997人	724人	273人
合計	64,721人	62,960人	1,761人

○ 効果

施設の環境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 415

2301 藤代武道場管理運営に要する経費 5,114,584円 (4,818,427円)

[その他 2,050,655円 一財 3,063,929円]

\* 特財内訳

[使用料：藤代武道場使用料 1,550,655円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 500,000円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの拠点として、武道場（柔道場・剣道場・弓道場）の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

施設名	H24	H23	増減
柔道場	8,652人	9,101人	△449人
剣道場	11,912人	11,128人	784人
弓道場	2,010人	2,056人	△46人
師範室	1,012人	1,436人	△424人
合計	23,586人	23,721人	△135人

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 415

2401 社会体育施設管理運営に要する経費 1,669,288円（1,964,044円）

[その他 545,100円 一財 1,124,188円]

\* 特財内訳

[使用料：高須体育館使用料 93,100円]

[諸収入：子ども発達センター光熱水費使用料 452,000円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの拠点として、施設の維持管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

高須体育館	H24	H23	増減
利用団体数	19団体	22団体	△3団体
延利用人数	4,086人	4,874人	△788人

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

## 6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：学務給食課] P. 417

2001 給食センター運営に要する経費 130,169,228円（131,617,852円）

[その他 121,328,658円 一財 8,840,570円]

\* 特財内訳

[諸収入：幼稚園給食代 2,466,866円]

[諸収入：小学校給食代（センター分）78,077,745円]

[諸収入：中学校給食代（センター分）40,784,047円]

○ 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

○ 内容

給食センターを運営するための経費で、給食臨時職員賃金、消耗品、燃料費、賄材料費、手数料（職員保菌検査、食材検査、細菌ふき取り検査）、及び負担金等である。

○ 効果

内容豊かな給食の提供、給食環境の充実で、支障なく運営することができた。

[担当：学務給食課] P. 419

2101 給食センター施設整備に要する経費 30,785,466 円 (30,510,158 円)

[その他 1,000,000 円 一財 29,785,466 円]

\* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 1,000,000 円]

○ 目的

給食センターの施設管理等の充実を図る。

○ 内容

安全な給食を提供するための維持管理経費である。

(1) 需用費 (単位：円)

項 目	内 容	金 額
光熱水費	水道料、電気料、ガス代	6,555,178
修繕料	調理器具等修繕料	2,515,852

(2) 委託料 (単位：円)

項 目	内 容	金 額
給食運搬業務委託料	2 台の配送車による各学校への給食運搬業務	12,266,100
電気保安業務委託料	電気設備の安全管理	119,700
受水槽清掃委託料	受水槽の清掃	99,750
真空冷却機点検委託料	真空冷却機の点検	304,500
ガス空調機保守点検委託料	ガス空調機保守点検	546,000
汚水・排水処理施設清掃点検委託料	排水処理施設保守点検・浄化槽油脂の汲取り	1,984,500
ボイラー運転・管理委託料	一級ボイラー技士による運転管理	5,014,800
ボイラー設備総合管理委託料	ボイラーストレージタンク・ボイラー水の中和装置の点検整備・重油タンク清掃・ボイラー排ガス測定	735,000
冷凍・冷蔵設備保守点検委託料	冷凍・冷蔵設備の点検	126,000
高窓・排気ダクト清掃委託料	高窓・燃焼排気ダクトの清掃	162,750
警備委託料	施設警備	167,580
害虫駆除委託料	害虫の駆除	73,500

○ 効果

給食の安全性がさらに高まり、小学校 6 校、中学校 2 校、幼稚園 1 園に予定どおりの給食を提供することができた。